

第20号 千種さわやか通信

発行者：千種さわやかクラブ
(千種区老人クラブ連合会)
TEL：052-753-1942
発行人 塚原義政
令和3年4月1日発行

ウイズコロナ時代 創意工夫を凝らし
楽しい老人クラブ活動を！

「伸ばそう健康寿命 担おう地域づくり」

千種区老人クラブ連合会

会長 塚原義政



このたび、会
員情報誌「千種
さわやか通信」
は、第二〇号を
迎えることがで
きました。会員
の皆様は厚くお
礼申し上げます。

昨年度は、コロナ禍の影響により、私たちの暮らしは一変し、これまでに経験したことのない大変な一年でした。新型コロナウイルス感染症予防のため、老人クラブの各行事も自粛しました。皆様方もステイホームを余儀なくされたと思いません。

ワクチン接種が進むなど
明るい兆しも見えてきまし
たが、収束までにはまだ時
間がかかると思われます。
日本老年医学会は、新型
コロナウイルス感染の流行
で外出を控えることによる
フレイル（虚弱）の進行、
認知機能の低下について注
意を呼びかけています。



千種さわやかクラブでは
「伸ばそう！健康寿命、担
おう！地域づくり」をメイ
ンテーマに、ウイズコロナ
時代の新生活様式に変え、
それに慣れながら高齢者の
健康づくり・フレイル（虚
弱）予防で元気高齢者を目
指して活動します。そして
高齢者の社会参加を働きか
け、仲間づくりの輪を広げ
てまいります。ウイズコロ
ナ時代、創意工夫を凝らし、
楽しい老人クラブ活動を目
指しましょう！皆様のご理
解、ご協力をよろしくお願
い申し上げます。

高見学区内の旧跡

「振甫プール」

高見学区寿クラブ連合会

会長 水野章博

「振甫プール」と
聞いて懐かしく思わ
れる方も多いと思い
ますが、現在、振甫
プールはごさいませ
ん。跡地に千種生涯
学習センターなど公
共施設が建設されま
した。その一角に振甫プ
ールの歴史を讃える「泳心一
路」と記された記念碑が建
立されておりま



当プールは、昭和八年に
開場され昭和四八年に廃止
となりましたが、その後改
修工事が行われ市民プー



として開場されました。その後、
老朽化などから平成二十一年三
月三十一日をもって、その長い
歴史に幕を下ろすことになりま
した。

当プールの歴史を見ますと、
昭和八年七月に競泳用五十メー
トルプール、飛込競技専用プー
ル、さらに一万人余収容可能な
スタンドにナイター照明を備え
た、名古屋市内で初めての本格
的プールとして運用され、全国
大会が開催されるなど日本を代
表するプールでした。

戦後は数々の国際大会が開催
され、競技用プールとしてはも
ちろんのこと、市民を元氣付け
る憩いの場として、数多くの市
民に利用されました。
今はもう子ども達の賑やかな
声は聞こえませんが、大切な思
い出が、記念碑とともに静かに
たたずんでいます。

会員募集中！

千種さわやかクラブでは常時会員を
募集しています。お住いの老人ク
ラブ役員、もしくは区役所老人ク
ラブ担当へお申し出ください。
※千種学区・大和学区・田代学区は
老人クラブがありません。
老人クラブ担当 TEL753-1942



コロナ禍でもできることから

上野学区老人クラブ連合会

会長 熊谷敏行

上野学区老人クラブ連合会には六つの老人クラブがあります。上野コミュニティセンターを主な活動拠点にして「健康教室」「防犯教室」などの屋内活動や「グラウンド・ゴルフ」「バス旅行」などの屋外活動をしてきました。

上野小学校での「昔遊び」「あいさつ運動」「学区体育祭」など、子ども達とのふれあいに積極的に関わっています。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大で、予定していた催しがほとんどできませんでした。十一月には、グラウンド・ゴルフ大会を「感染予防」に注意しながら開催することができました。

今は、コロナ禍が収まることを願いつつ、会員を拡大するための準備に取り組んでいます。



お知らせ

令和3年度から「千種さわやかポイント」制度が始まります。この制度は、会員の皆様にいろいろな行事に参加していただき、クラブ活動を活性化していただくための制度です。単位クラブ・学区老連・区老連の行事参加ポイントや新規会員紹介ポイントなどを集めて記念品をもらいましょう。



十二月二十三日開催 ボッチャ研修会

区老連 コーナー

令和3年度 千種区老人クラブ連合会行事予定

秋

十一月十一日(木)
グラウンド・ゴルフ親睦会

一〇月二五(二六)日
趣味の作品展

一〇月一九(二〇)日
ふれあい研修旅行

夏

七月二〇日(火)
シニアスポーツ大会
(カローリング・クオリティ)

九月一七日(金)
親睦のつどい

春

五月十三日(木)
シニアスポーツ大会
(ペタンク)

五月二八日(金)
区老連総会

六月七日(月)
シニアスポーツ大会
(グラウンド・ゴルフ)

冬

十二月二二日(水)
体力測定の日

一月二六日(水)
文化(健康)講座

二月二日(火)
演芸大会

千種区話題コーナー 「千種区の誕生」

第一回目ということで千種区の生い立ちについて記述します。千種区の幕開けは、紀元前二百年〜三百年頃、尾張物部氏が古井村に集落をなし、営みを始めたからといわれています。明治二十二年、名古屋市は市制を施行しました。その当時の千種区は、愛知郡千種村、鍋屋上野村、田代村の三つの村がありました。その後、編入、合併等があり大正十年ほとんどの区域が合併することにより名古屋市東区となりました。昭和十二年十月一日、東区より分区分千種区が誕生しました。同じ年に東山動物園も誕生しました。昭和三十年に千種区に猪高村を編入し、昭和五十年に名古屋東区を分区分して現在に至っています。